

## 第5学年国語科学習指導案

**単元名** メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう

**教材名** 「テレビとの付き合い方」 佐藤 二雄作（東京書籍 小学校5年下）

### 1 単元について

#### (1) 児童観

児童は、これまでに「読むこと」の説明的な文章の教材において、「動物の体と気候」（東京書籍5年上）の教材を用いて、段落ごとにどのようなことが書かれているのかを整理して要約したり、段落相互の関係や働きを押さえながら文章全体がどのように構成されているのかを考えたりする学習を行った。また、「新聞記事を読み比べよう」（東京書籍5年上）では、書き手が何を意図しているかによって、同じ題材でも記事の内容や掲載される写真などが違ってくことも学習してきた。さらに、「森林のおくりもの」（東京書籍5年下）では、自分の課題を解決するために、目次や索引、見出しなどを利用しながら、題名の工夫や述べ方に注意して読み、要旨を捉える学習も行った。

「書くこと」の学習としては、「立場を明確にして書こう」（東京書籍5年上）において、相手に自分の意見が伝わるように、効果的な構成を考えて意見文を書く経験をした。また、「資料を読んで考えたことを書こう」（東京書籍5年上）では、グラフや表などを読み取り、それを生かして文章を書く学習を行った。

これらの学習を通して、説明的な文章において文章構成を理解し要旨を捉えることや、伝えたいことを意見文に書いたり資料を活用したりすることはできるようになってきている。

しかし、筆者の意見の述べ方の工夫について客観的に読み取り、自分の意見をもつことができるようになるまでには至っていない。このことから、意見と図や具体例の関係に着目しながら、筆者の意見の述べ方の工夫を読み取る活動に取り組ませる必要があると考える。

#### (2) 教材観

今、子どもたちの身の回りにはテレビやゲーム、インターネットなど様々なメディアが溢れている。そこから発せられる情報を鵜呑みにしてしまっている現状も、日常の会話の中から見て取れる。このような状況下にある子どもたちに、送り手の意図にまで想像を巡らしながらメディアと関わっていくことの必要性を考えさせることは、これからの情報化社会を生きていく上で重要であると考える。

本教材は、文章部分と資料部分の二つで構成されている。文章部分は序論、本論、結論から成り、本論は筆者の意見とそれを説明するための具体例から成っている。ここでは、テレビで放送される部分は一部であり、それがすべての情報だと誤解する例を「黒い部分」と「白い部分」の図を使って説明している。ここでは、長方形の図を用いて広い面積を占める「白い部分」の中に狭い面積の「黒い部分」を配置して、見える情報量と見えない情報量の対比を分かりやすく示している。そして、結論では今後のテレビとの上手な付き合い方を考えてほしいという筆者の主張が述べられている。また、補足の資料部分では、筆者の考えを補うために写真が二枚ずつ示されている。

このように、筆者の意見の述べ方を使って自分の考えを説明する練習ができるようになっており、メディアについて考え、情報の受け止め方についての意見文をまとめる学習に適した教材であると考える。

### (3) 指導観

本単元では、自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用する(「C読むこと」(2)イ)活動を言語活動として設定する。

第1次では、情報化社会における自己の意識向上を図っていこうという課題を提示し、学習の見通しをもたせる。まず、事前実施しておいたメディアについてのアンケート結果を見せながら、メディアそのものや自己の現状について意見交流をする。次に、意見文にまとめるために、筆者の述べ方、図や具体例の提示の仕方に着目しながら教材文を読み進めるという学習の流れを把握させたりすることで、読みの必然性をもたせていきたい。

第2次では、筆者の意見と「黒い部分」と「白い部分」の図を使った具体例の挙げ方に着目しながら、教材文の文章構成や要旨を読み取らせる。「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を選び、抽象的な言葉と具体的な言葉に分類し整理していくことで、「筆者の意見と具体例の関係」や「筆者の主張」を読み取らせていきたい。筆者の意見の述べ方の工夫についても随時取り上げながら、構成の工夫やその効果を考えさせていきたい。また、補足の資料についても「黒い部分」と「白い部分」の図を使って考えることで、筆者の説明の仕方を活用させたい。

第3次では、テレビ番組やコマーシャル、新聞、雑誌、広告を対象にして意見文にまとめさせる。教材文で読み取った筆者の意見の述べ方の工夫を生かすために、「黒い部分」「と白い部」分の図を使ったワークシートに構成メモを書かせてから意見文として表現させる。その後、交流会を開き、これからのメディアとの関わりについて考えを深めさせたい。

## 2 単元の目標

メディアとの関わりについての意見文をまとめることを通して、意見と具体例との関係に注意して筆者の考えを読み取ることができる。

## 3 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
1 身近なメディアに興味をもち、それらの特性や関わり方を考えようとしている。	1 意見と図や具体例の関係に着目し、その効果を考えながら筆者の考えを読み取っている。【C読むこと(1)ウ】 2 自分の課題を解決するために、様々なメディアからの情報や、意見や解説の文章などを利用している。【C読むこと(1)イ】	1 説明的な文章における文章全体の構成を理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(キ)】

## 4 指導と評価の計画(全9時間)

次	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準とその方法
事前	課外	○ 日頃のメディアとの関わりについて想起する。	・メディアについてのアンケート調査を実施し、関わりについて把握しておく。	

一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材文を通読して初発の感想を書く。</li> <li>○ 単元のめあてや学習の流れを確かめる。</li> <li>○ 学習計画を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて知ったことや疑問点、筆者の主張、自分の生活を振り返ってなどの視点を提示して感想を書かせ、交流させる。</li> <li>・事前に実施しておいたメディアに関するアンケート結果を基に話し合い、学習課題を決定する。</li> </ul>	<p>【関－１】メディアとの関わりについて関心をもち、積極的に話し合おうとしている。</p> <p>[ワークシートの記述と発言内容]</p>
二	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章構成を確認する。</li> <li>○ 筆者の主張を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・序論(①②)は話題提示、本論(③④⑤⑥)が筆者の意見や例、結論(⑦)がまとめであることを確認させる。</li> <li>・文章構成表から筆者の主張が結論部分にあることを確認させ、読み取らせる。</li> </ul>	<p>【言－１】文章全体の構成を理解している。</p> <p>[ワークシートの記述内容]</p> <p>【読－１】筆者の主張を読み取っている。</p> <p>[ワークシートの記述内容]</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 序論部分を読み取る。</li> <li>○ 筆者の意見の述べ方の工夫を考える。</li> <li>○ 本論部分の構成について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張の前提条件を押さえるために、テレビが最も身近なメディアであることを確認させる。</li> <li>・自分の意見を読者に分かりやすく説明するために、グラフを用いていることに気付かせる。</li> <li>・接続語や書かれている内容から、本文を筆者の意見と具体例にの部分に分けさせる。</li> </ul>	<p>【読－１】筆者の意見の述べ方の工夫として、グラフを用いていることに気付き、その効果について考えている。</p> <p>[ワークシートの記述内容]</p> <p>【言－１】本論部分を筆者の意見が書かれている部分と具体例が書かれている部分に分けている。</p> <p>[ワークシートの記述内容]</p>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「黒い部分」と「白い部分」の図の意味を考える。</li> <li>○ 本論部分の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑤段落の説明を「黒い部分」と「白い部分」の図に当てはめさせていくことで、図の意味を理解させる。</li> <li>・図の「黒い部分」と「白い部分」に対応する言葉をマーキングしながら本文を読ませ、見つけた言葉を付箋に書き出させる。</li> <li>・書き出した付箋を「黒い部分」に当てはまる言葉と「白い部分」に当てはまる言葉に分けてワークシートに整理させる。</li> </ul>	<p>【読－１】図の意味を理解し、「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を見付けている。</p> <p>[付箋の記述内容とワークシートへの整理の仕方]</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級全体の交流により，確認させる。</li> </ul>		
5	<p>○ 本論部分の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を整理し，筆者が図を使って伝えたかったことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が各自で整理しておいた「黒い部分」と「白い部分」に対応する言葉を，対応関係や具体・抽象の別に注意しながら，話し合いを基に黒板で整理していく。</li> <li>・整理した言葉を基に，筆者が伝えたかったことをまとめさせる。</li> </ul>	<p>【読－１】筆者の考えを読み取り，意見の述べ方の工夫に気付いている。</p> <p>[ワークシートの記述内容]</p>	
6	<p>○ 補足の写真資料を「黒い部分」と「白い部分」の図を使って説明する。</p> <p>○ 教材文と資料に共通することをつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「このように」(p.107)という言葉から筆者の考えを読み取らせる。</li> <li>・「黒い部分」と「白い部分」の図と写真を対応させながら，写真の伝わり方について説明させる。</li> <li>・テレビや写真の伝わり方について共通することをつかませる。</li> </ul>	<p>【読－１】筆者の考えを読み取り，図や写真を使って説明している。</p> <p>[ワークシートの記述内容]</p>	
三	7	<p>○ テレビ番組やコマーシャルなど，自分が選んだメディアについて「黒い部分」と「白い部分」を明確にした構成メモを作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ，自分が取り扱うテレビ番組やコマーシャルなどの内容を決めさせておき，ここでは，選んだ資料を「白い部分」と「黒い部分」の図を載せた構成メモに内容を整理させる。</li> </ul>	<p>【読－２】自分が選んだメディアについて，「白い部分」と「黒い部分」の図に当てはめながら内容を整理している。</p> <p>[ワークシートの記述内容]</p>
	8	<p>○ 構成メモを基に，メディアとの関わりについての意見文をまとめる。</p> <p>○ 簡単な発表練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題名や書き出しの言葉，文末表現などを提示して書きやすいようにしておく。</li> <li>・必要があれば，発表の際に使用する写真などを準備させる。</li> </ul>	<p>【読－２】意見と具体例との関係に注意して，意見文にまとめている。</p> <p>[意見文の記述内容]</p>
	9	<p>○ 完成した意見文を紹介し合い，メディアとの関わりについて考えを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内での紹介をさせた後，全体で数人紹介させる。その際，聞く側はコメントをするように促し，考えを深めさせる。</li> <li>・今後のメディアとの関わりについても考えさせる。</li> </ul>	<p>【関－１】意見文を交流することで，メディアとの関わりについて考えようとしている。</p> <p>[ワークシートの記述と発言内容]</p>

## 5 本時の指導(5/9)

### (1) 目標

「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を整理して筆者の考えを読み取り，図や具体例を用いた筆者の意見の述べ方の工夫に気付くことができる。

### (2) 展開

学習活動	指導上の留意点
<p>1 前時の学習を振り返り，本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 前時に書き出した「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を確認しながら本論部分を読ませる。</p>
<p>筆者の考えを読み取り，意見の述べ方の工夫を考えよう</p>	
<p>2 「黒い部分」と「白い部分」に対応する表現を整理する。</p> <p>【「黒い部分」の具体例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの一つ一つ</li> <li>・ひとりひとりのすがた</li> <li>・サッカー，ドッジボール，おにごっこ，なわとび など</li> </ul> </div> <p>【「黒い部分」の筆者の意見】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビの送り手が集め，選び，編集して届ける情報</li> <li>・ほんの一部</li> <li>・だれにでも受け入れてもらえそうな，そのごく一部</li> <li>・報道された事実 など</li> </ul> </div> <p>【「白い部分」の具体例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広いグラウンド</li> <li>・いろいろなグループ</li> <li>・グラウンドいっぱい広がっている全体 など</li> </ul> </div> <p>【「白い部分」の筆者の意見】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界中の出来事や動き</li> <li>・実際の出来事にふくまれるぼうだいな量の情報</li> <li>・さまざまな出来事</li> <li>・何万倍もある報道されなかった事実</li> <li>・もっと重要な情報 など</li> </ul> </div>	<p>○ 児童が選んだ言葉は，どちらの部分に対応するか考えさせるために，あらかじめ短冊に書き出して用意しておく。</p> <p>○ 児童が各自で用意しておいた「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を，対応関係や具体・抽象の別に注意しながら，話し合いを基に黒板で整理していく。</p> <p>○ 黒板に短冊を貼り，児童に実際に操作させながら整理していく。</p> <p>○ 意見や具体例の別，対応関係については，途中においても随時，支援していく。</p>
<p>3 筆者が図を使って伝えたかったことをまとめる。</p>	
<p>4 筆者の意見の述べ方の工夫について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図や具体例を用いることで分かりやすくなる。</li> <li>・筆者の意見をより伝わりやすくする。 など</li> </ul>	<p>○ 図や具体例と意見の関係を明確にさせるために，筆者が伝えたかったことを文章でまとめさせる。</p> <p>○ 「このことを，分かりやすく～」「もっと分かりやすく」などの表現などを参考に図や具体例の効果について考えさせる。</p>

5 学習を振り返り，次時の学習に見通しをもつ。

評価【読－1】

筆者の考えを読み取り，図や具体例を用いた筆者の意見の述べ方の工夫に気付いている。

〔ワークシートの記述内容〕

○ 次時は資料部分について読み取っていくことを伝える。